

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 104
平成 20 年 1 月 7 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

情報モラル(1)

情報モラルについて子どもたちに指導しなくてはならない、という思いは、どの先生でもお持ちのことと思います。

しかし、いざ授業をしようとする、どこから始めればいいのか、具体的に何について話をすればいいのかわからない、といった戸惑いをもたれるのではありませんか。

一方、情報モラルとは言うけれど、自分はインターネットをそうしょっちゅう使っているわけではないし、チャットも掲示板もやらない、ショッピングもオークションもネットバンキングもやらない、SNS にも入っていないし、ホームページで調べたり、メールのやりとりをしているだけで、子どもたちに指導できるほどインターネットがわかっていない、というふうに思っておられるかもしれません。

試みに、インターネットの検索サイトで、「情報モラル」に続いて、「教材」「小学校」「指導」などのキーワードをつけて検索してみると、実にたくさんの資料が公開されていることがわかります。(これでは多すぎますね)

URL (アドレス) の“http://”に続く文字列に、pref-県名、があれば、県のサイト、city-市名、なら、市のサイト、japet、cec、nicer、sweb.nctd、などであれば、国や文科省の委託を受けた法人や組織など、続く次の“/”の前が、go.jp、なら国(政府)関連のサイト、中でもmext.go.jp、なら文科省、また、ed.jpなら、教育関係の組織(学校や教育委員会など)となります。(これで全て説明できるわけではありません、念のため)

「情報モラル研修教材」は、2005が最新版です。

ここに更に、たとえば「4年生 個人情報」などとキーワードを加えて検索すると、もう少し詳しく情報を絞り込むことができます。(検索されるサイトの数が一桁落ちました)それでもまだ、4桁に上のサイトが見つかります。

たいていは、検索結果の1ページ目から、せいぜい3ページ目ぐらいまでのサイトが目的になっている場合が多いわけですが、それでもまだまだたくさんあって、どこから手をつけていいかわかりません。

とりあえず、目についたところに取り付いて、そこをじっくり研究してみると、それまで漠然としていたことが、少しははっきりしてくると思います。

次は、実際に何をどう始めるか、ということになります。これから、順次お話ししていきます。